

【 地理分野 】

月	年間指導計画 (学習内容) 単元名 単元の目標	評価 の 観点	具体的な評価規準	評価方法
4	世界の姿 ・緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置などを基に、世界の地域構成を大観し理解できる。 ・地域構成の特色を、分布や位置、緯度や経度に着目し多面的・多角的に考察し、表現できる。	知識 技能	・世界の州と主な国の位置と名称や、緯度と経度のしくみを理解したり、地図帳の索引や統計資料を活用したりしている。	定期考 査
5		思考 判断 表現	・国名や国旗、国境線の特色から、その国の歴史や文化が分かることや、さまざまな種類の世界地図の特色を考察している。	定期考 査 ・ ワーク シート
		態度	・地図や地球儀に親しみ、世界の地域構成や位置の表現方法について主体的に追究している。	ノート ・ 課題
6	日本の姿 ・人々の生活は、営まれる場所の自然及び社会的条件から影響を受けたり、その場所の自然及び社会的条件に影響を与えることを理解できる。 ・世界各地における人々の生活や変容を基に、人々の生活や環境の多様性を理解できる。その際、世界の主な宗教の分布についても理解できる。 ・各地における生活の特色や変容の理由を、生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察し、表現できる。	知識 技能	・世界の中での日本の位置や、日本の領域と領土をめぐる問題、日本の都道府県について理解し、日本の位置を示したり、日本と各地との時差を計算し時刻を求めたりすることができる。 ・世界各地の人々の多様な生活と環境について、気候や地形などの自然条件と衣食住や宗教などの社会的条件を関連づけて理解している。	定期考 査
7		思考 判断 表現	・世界の中での日本の位置や広がりや、日本と世界各国の時差、日本の領土・領域について、多面的・多角的に考察している。 ・生活と環境について、自然条件や社会的条件と関連づけ、写真や地図、主題図などを活用して多面的・多角的に考察している。	定期考 査 ・ ワーク シート
		態度	・世界の中での日本の位置や広がりについて関心をもち、地球儀や地図を活用して、それらの事象を主体的に追究、解決しようとしている。 ・世界各地の人々の多様な生活と環境に対して関心をもち、主体的に追究しようとしている。	・ノート ・ 課題
9	アジア州 ・アジア州の地域的特色を大観し理解できる。 ・地球的課題の要因や影響を、地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して、多面的・多角的に考察し、表現できる。	知識 技能	・多様な自然環境や文化、産業がみられるアジア州について、地域ごとに特色を理解し、地域間の違いから全体の地域的特色を理解している。 ・地域的特色を自然環境、文化、産業の特色に着目して大観し、自然環境や文化にみられる共通性と多様性を理解している。	定期考 査
10		思考 判断 表現	・アジア州の国々が急激な経済発展をしている理由を、人口増加や他地域との結び付きなどに着目し、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・他地域との結び付きに着目して、EU 統合の背景と課題、生活に与える影響を地域的特色と関連付けて、多面的・多角的に考察し表現している。	定期考 査 ・ ワーク シート
		態度	・人口増加と経済発展が、与える影響や、課題を追究しようとしている。 ・日本との比較を交えながら、地域的特色及びEU 統合や文化の多様性に関わる課題を主体的に追究しようとしている。	ノート ・ 課題
11	アフリカ州 ・アフリカ州の地域的特色を大観し理解できる。 ・地域で見られる地球的課題の要因や影響を、地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目し、多面的・多角的に考察し、表現できる。 北アメリカ州 ・北アメリカ州に暮らす人々の生活を基に、北アメリカ州の地域的特色を大観し理解できる。 ・北アメリカ州において、地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現できる。	知識 技能	・生活や産業の特色を理解し、アフリカ諸国とヨーロッパ諸国との文化や経済的な関係を、資料を用いながら歴史的背景を踏まえて理解している。 ・アメリカ合衆国において、民族の多様性や、広大な国土を利用した農業、変化し続ける工業について理解している。	定期考 査
12		思考 判断 表現	・輸出品が特定の農産物や鉱産資源に偏るようになった原因を追究し、その問題点を多面的・多角的に考察している。	定期考 査 ・ ワーク シート
		主体的に 学習 に取り組 む態 度	・ヨーロッパ諸国との関係やモノカルチャー経済に着目しながら、地域的特色への関心を高め、課題の解決を主体的に追究しようとしている。 ・世界に大きな影響を与える北アメリカ州の産業や文化に着目しながら、それに関わる課題を主体的に追究しようとしている。	ノート ・ 課題

1	南アメリカ州 ・生活を基に、地域的特色を大観し理解できる。 ・課題の要因や影響を、地域の結び付きなどに着目して、多面的・多角的に考察し、表現できる。	知識 技能	・自然環境の特色と歴史を理解し、自然環境と結び付く産業や、多文化社会による移民と先住民との共生などの地域的特色を理解している。	定期考 査
2	オセアニア州 ・生活を基に、地域的特色を大観し理解できる。 ・地球的課題の要因や影響を、地域内の結び付きなどに着目して、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現できる。	思考 判断 表現	・地域的特色や課題を、生活の様子を基に多面的・多角的に考察している。 ・オセアニア州の国々が、ヨーロッパの国と密接な関係を保ちながら、近年アジアとのつながりを深め、多文化社会を進めている理由や課題を多面的・多角的に考察している。	定期考 査 ・ ワーク シート
3		態度	・オーストラリアやニュージーランドの多文化社会に着目しながら、オセアニア州の地域的特色や地域の新たな課題を主体的に追究しようとしている。	ノート ・ 課題

【 歴史分野 】

月	年間指導計画 (学習内容) 単元名 単元の目標	評価 の 観点	具体的な評価規準	評価方 法
4	人類の登場から文明の発生へ ・古代文明や宗教がおこった場所などに着目して文明や宗教の特徴を比較して考察し、各地で人々が築いた諸文明には、技術の発達、文字の使用、国家のおこりと発展、都市や巨大建造物、身分の分化などの特徴があることに気付かせる。	知識 技能	・古代文明の特色を、巨大な遺跡と文字や暦の発達に着目して読み取るとともに、宗教が生まれてきた背景を古代文明の発達との関わりから理解し、諸資料から歴史に関する情報を効果的に調べ、まとめている。	定期考 査
5	・ギリシャ・ローマ文明の政治制度について、現代につながる面と現代の民主主義とは異なる面の両面を踏まえて理解させる。	思考 判断 表現	・古代文明が発生した理由を、農耕や牧畜の始まりと環境との関わりに着目して考察し、共通点に気付く事象を相互に関連付けるなどして、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	定期考 査 ・ ワーク シート
		態度	・世界の古代文明や宗教のおこりについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	ノート ・ 課題
6	東アジアの中の倭（日本） ・狩猟・採集を行っていた人々の生活が農耕の広まりとともに変化していったことや、自然崇拜や農耕儀礼などに基づく信仰が後の時代にもつながっていることに気付かせる。	知識 技能	・日本列島における農耕の始まりと人々の生活の変化、ヤマト王権の勢力の拡大などを基に、東アジアの文明の影響を受けながら日本で国家が形成されていったことを理解するとともに、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を効果的に調べ、まとめている。	定期考 査
7	・古墳の大きさやその分布を基に、ヤマト王権の勢力の広がりを捉えさせ、東アジアとの関わりについては、大陸から移住してきた人々が日本の社会や文化に果たした役割に気付かせる。	思考 判断 表現	・農耕の広まりや生産技術の発展に渡来人が果たした役割に着目し、人々の生活や社会に与えた影響を考察し、事象を相互に関連付けるなどして、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	定期考 査 ・ ワーク シート
		態度	・日本列島における国家形成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	ノート ・ 課題
9	中国にならった国家づくり ・聖徳太子の政治、大化の改新から律令国家の確立に至るまでの過程を大きく捉えさせ、大陸の文物や制度を積極的に取り入れながら国家のしくみが整えられたことを理解させる。	知識 技能	・律令国家の確立に至るまでの過程を基に、大陸の文物や制度を積極的に取り入れながら国家のしくみが整えられ、その後、天皇や貴族による政治が展開したことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を効果的に調べ、まとめている。	定期考 査
10	・大陸からの仏教が、文化のさまざまな面に影響を及ぼしたことに気付かせ、国際的な要素を持った文化が栄えたことを理解させる。	思考 判断 表現	・東アジアとの接触や交流に伴う日本の政治や文化の変化に着目して、政治や文化に与えた影響を考察し、事象を相互に関連付けるなどして、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	定期考 査 ・ ワーク シート
		態度	・律令国家の形成について、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	ノート ・ 課題

11 12	展開する天皇と貴族の政治 ・摂関政治を基に平安京における貴族の政治の特色を捉えさせる。 ・東方の変化によって、政治と文化において動きが見られるようになったことに気付かせる。 ・日本独自のかな文字が発明され、それを使った文学作品が書かれたことなどに気付かせ、文化の国風化が進んだことを理解させる。 武士の世の始まり ・武士が台頭して武家政権が成立し、その支配が広まったことを理解させる。 ・武家政治の特徴という観点から、古代から中世への転換の様子に気付かせる。	知識 技能	・平安時代は、摂関政治が展開され、政治の実権が天皇から貴族に移行していったことを理解しているとともに、平安時代の文化の特色を諸資料から適切に読み取りまとめることができる。 ・鎌倉幕府の成立により、主従の結び付きや武力を背景とした武家政権が成立し、その支配が広がったことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を効果的に調べ、まとめている。	定期考 査
		思考 判断 表現	・平安京への遷都や密教の興隆、国風文化の形成に着目して、政治や文化への影響を考察し、社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ・武士の政治への進出と政治の展開、貴族の政治との違いに着目して、武家政権の特徴を考察し、事象に関連付けるなどして、古代から中世の社会の変化を多面的・多角的に考察し、表現している。	定期考 査 ・ ワーク シート
		主体的に 学習 に取り組 む態度	・平安時代は、藤原氏の皇室との姻戚関係や広大な荘園の所有を背景に摂関政治が展開され、政治の実権が天皇から貴族に移行していったことを理解しているとともに、平安時代の文化の特色を、諸資料から適切に読み取りまとめることができる。 ・古代の文化と東アジアとの関わり、武家政権の成立とユーラシアの交流などについて、よりよい社会の実現のため課題を主体的に追究しようとしている。	ノート ・ 課題
1 2 3	武家政権の内と外 ・元寇がユーラシアの変化の中で起こったことなど、武家政治の展開とともに、東方世界との密接な関わりが見られたことを理解させる。 ・争乱の中で室町幕府が成立し、武家社会が次第に大きな力を持っていったこと、日明貿易で銅銭がもたらされ、貨幣経済の発達を促したこと、琉球が日本、明や朝鮮、東南アジア諸国との中継貿易を行っていたことに気付かせる。 人々の結びつきが強まる社会 ・農業など諸産業の発達や畿内を中心とした都市や農村における自治的なしくみの成立が、当時の社会の大きな変化であることや、それに伴って商品流通が活発化したことに気付かせる。 ・武家政治の展開や民衆の成長を背景とした文化が生まれたことを理解させ、文化の中に現代に結び付くものが見られることに気付かせる。 ・各地に戦乱が広まる中で戦国大名が登場し、自らの領国を支配して分国法を定めたり、城下町を形成して産業の振興に努めたりしたことや、下剋上の風潮など、社会全体が大きく変化していったことに気付かせる。	知識 技能	・蒙古襲来が国内に及ぼした影響、南北朝の争乱と室町幕府、日明貿易、琉球の国際的な役割などの知識を基に、武家政治が東アジア世界と密接な関わりを持ちながら展開していったことを理解し、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を効果的に調べ、まとめている。 ・農業など諸産業の発達、都市や農村における自治的なしくみの成立、多様な文化の形成、応仁の乱後の社会の変動などを基に、民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を効果的に調べまとめている。	定期考 査
		思考 判断 表現	・蒙古襲来をモンゴル帝国の拡大の一環としてとらえるとともに、政治や社会に与えた影響を考察し、事象を相互に関連付けるなどして、中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ・室町時代に農業や商工業が発達した理由や、民衆の成長が社会に与えた影響を、生産力の高まりと交通の発達に着目して考察し、中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	定期考 査 ・ ワーク シート
		態度	・平安時代は、藤原氏の皇室との姻戚関係や広大な荘園の所有を背景に摂関政治が展開され、政治の実権が天皇から貴族に移行していったことを理解しているとともに、平安時代の文化の特色を、諸資料から適切に読み取りまとめることができる。 ・古代の文化と東アジアとの関わり、武家政権の成立とユーラシアの交流などについて、よりよい社会の実現のため課題を主体的に追究しようとしている。	ノート ・ 課題